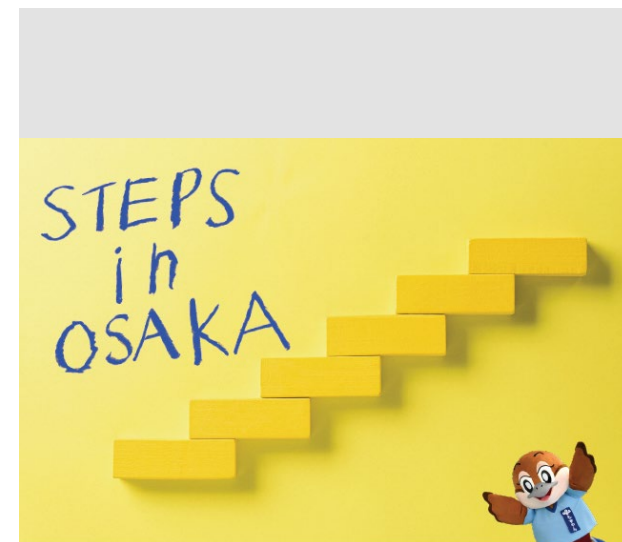


第16回 地方自治体の学力調査等の CBT化検討研究会

「STEPS in OSAKA」の作成について

令和5年8月25日（金）

大阪府教育庁市町村教育室小中学校課



STEPS in OSAKAとは

©2014 大阪府もずやん

児童生徒1人ひとりの外国語（英語）の学習到達度に応じ、
1人1台端末を使用して個別最適な学びを実現するための学習ツールです。

大阪府が作成した、4技能5領域とCEFRJ(PreA1～B2.2の10段階)に準拠した「大阪版CANDOリスト」の
各段階に応じたテスト問題（STEPS問題）を、文部科学省のMEXCBT上に搭載しました。
各学校では、学習eポータルを活用してSTEPS問題を解いたり、解答状況を確認したりすることができます。



「STEPS」とは、
「Self Training for English Proficiency of Students」
のイニシャルを取った造語です。

「Self Training」という点が大きなポイントです。
一斉学習で協働的に英語を学ぶだけではなく、
子どもたちが英語を使って何かができるようになるのが、
早急に意識しながら学習を進めていくことを実現します。

もう一つのポイントは「Proficiency」です。
Proficiencyを「習熟度」「技量」と捉え、
子どもたちが自分で問題を選んで、既習内容の練習や、
少し先のレベルの問題にチャレンジすることができる
ツールです。

本日の流れ

- 1.「STEPS in OSAKA」の概要**
- 2.令和4年度の実施状況の成果と課題**
- 3.令和5年度の実施状況
(実施方法の改善等)**

1. 「STEPS in OSAKA」の概要

大阪府STEPS in OSAKA 読むこと 段階5①-

読むこと 段階5①

あなたは夏休みに兄の亮太（Ryota）と旅行に行き、最終日の空港でのようすを自分のSNSに英語で綴りました。その時に撮った5枚の写真もいっしょに載せましたが、掲載の順番を間違えてしまいました。英文を読んで、①～⑤の写真を撮った順番に並べ替えなさい。

I went to Hokkaido with my brother, Ryota. After traveling around Hokkaido for some days, we were at New Chitose Airport to go back to our hometown. The airplane was going to take off in 2 hours. Before then, we went to souvenir shops to buy gifts for our friends and parents.

The first shop sold sweets. There were many kinds of chocolates and cheesecakes there. I was very happy to see them because my friends and I like sweets very much. "I want to bring all of them back home!" I said. Ryota smiled bitterly and said, "Choose just what you want. We don't have so much money or time."

I got a big paper bag with many small gifts for my friends. During that time, Ryota had gotten some gifts in the other shop for his friends. We met in front of the sweets shop. "This cute little cheesecake is for Mako and ..." I explained happily to Ryota what I had bought.

"Now we've got enough for our friends. Let's go another shop to get gifts for mom and dad," I said. We found a shop selling smoked foods. We bought a big chunk of bacon, smoked salmon and smoked cheese for our parents.

"Well, we got all the souvenirs. We had better go to the boarding gate." I said happily. Ryota answered, "That's right. The boarding time will come soon. Uh oh, I almost forgot Masato! He asked me to buy some caramels." We ran back to the first shop.



STEPS in OSAKAとは…

児童生徒 1 人ひとりの学習到達度に応じ、一人一台端末を使用して個別最適な学びを実現するための学習ツール

4 技能 5 領域とCEFR-J（PreA1～B2.2の10段階）に準拠した「大阪版CAN-DOリスト」を作成し、各段階に応じたテスト問題をMEXCBT上で作成しました。

STEPS ⇒ **S**elf
Training for
English
Proficiency of
Students in Osaka



(大阪府教育庁HP)

(Proficiency = 習熟度、技量 の意)

1.「STEPS in OSAKA」の概要

STEPS in OSAKA でできること



【児童生徒】

◎各領域・各段階の問題を解き、自分で解答状況を確認できる

→ 大阪版 CAN-DO リストと照らし合わせながら児童生徒が自分で学習を進めていくことを想定しています
解答した内容について、ふり返りをすることもできます（下図参照）

◎音声の吹き込み、再生が可能（ヘッドセット等があると便利です）

→ 何度も録音し、自分で聴き直すことができます（最後に録音したものが記録されます）

【教職員】

◎児童生徒の取組み状況や解答内容について確認できる（確認方法は、使用する学習 e-ポータルによって異なります）

話すこと（やりとり）STEP 5① 設問 1
あなたが見ている画面に持っているときと外国人観光客に道を尋ねる場面を想定しました。

ネイティブスピーカーの音声で出題される！

〈録音〉

- 下の録音ボタン をクリックまたはタップして話しましょう。
- 話している間、録音ボタンの上のバーが右にのびて行きます。
- 一番右に届くと録音が終わるので、それまでに話し終わらしましょう。
- 話し終わったら、停止ボタン をクリックまたはタップして、録音を終えましょう。

自分で録音した音声をその場で再生して確認できる！

話すこと（やりとり）STEP 5① 設問 1
下の解答とその音声とあなたの解答や録音した音声を比べて、より聞き取りやすいように再生します。

解答

Yes. Just go straight on this street and turn right at the bookstore. The convenience store is next to it.

ふり返り

- Yes. Just go straight on this street and turn right at the bookstore. The convenience store is next to it. を選び、正しく選んだ。
- Yes. Just go straight on this street and turn right at the bookstore. The convenience store is next to it. を選んだが、最初の音声とは異なる語句があった。

ネイティブスピーカーの音声で解答を確認でき、ふり返ることができる！

1.「STEPS in OSAKA」の概要



(マニュアル・資料 →
文部科学省CBTシステム 運用支援サイト)

STEPS in OSAKA問題を活用する

＜事前に準備すること＞

- ① **MEXCBTの利用登録が必要**
- ② **学習e-ポータルが導入済みであること**
- ③ **各校でMEXCBTテストの登録作業を行う**

＜学習e-ポータル上でできること＞

- ◎ **各領域・各段階の問題を解き、自分で解答状況を確認できる**
- ◎ **音声の吹き込み、再生**
(ヘッドセット等があると便利)

大阪版CAN-DOリストと照らし合わせながら児童生徒が自分で学習を進めていくことを想定しています

あなたへのテスト

未解答のテストが 21 件あります

必修のテスト | 自習のテスト | 一斉配信テスト

検索条件: すべてのテスト | リセット | テストを検索

| 必修 | 2022年10月1日 ~ 2022年12月31日 | 4 / 10 テスト終了 |
|----|---|--------------|
| 必修 | 大阪府STEPSinOsaka_話すこと (発表)_確認用 ▲ 教員 001 | |
| 必修 | 2022年10月1日 ~ 2022年12月31日 大阪府STEPSinOsaka_話すこと (やりとり)_確認用 ▲ 教員 001 | 1 / 10 テスト終了 |
| 必修 | 2022年10月1日 ~ 2022年12月31日 大阪府STEPSinOsaka_聞くこと_確認用 ▲ 教員 001 | 7 / 9 テスト終了 |

1.「STEPS in OSAKA」の概要

| 教科から選ぶ | | 問題の種類から選ぶ | |
|-----------|--------|-----------|--|
| 問題の種類 ※必須 | 独自作成問題 | 形式 ※必須 | <input checked="" type="radio"/> 複数問題形式 <input type="radio"/> 一問一答形式 |
| 字種 | | 教科 | |
| 級 | | | |
| タイトル | 大阪府 | | |
| リセット | | 検索 | |

問題一覧 全52件

問題を選択し『選択した問題を確認』ボタンを押してください(選択できる問題は10個までとなります)

| No. | タイトル | 教科 学年 | 科目 | 問題情報 | 解説情報 | 詳細 |
|--------------------------|-------------------------------|-------------|----|------|------|----|
| <input type="checkbox"/> | 1 大阪府STEPS in OSAKA 書くこと 段階1① | 外国語 (英語) 共通 | | | | 詳細 |
| <input type="checkbox"/> | 2 大阪府STEPS in OSAKA 書くこと 段階2① | 外国語 (英語) 共通 | | | | 詳細 |
| <input type="checkbox"/> | 3 大阪府STEPS in OSAKA 書くこと 段階3① | 外国語 (英語) 共通 | | | | 詳細 |
| <input type="checkbox"/> | 4 大阪府STEPS in OSAKA 書くこと 段階4① | 外国語 (英語) 共通 | | | | 詳細 |
| <input type="checkbox"/> | 5 大阪府STEPS in OSAKA 書くこと 段階5① | 外国語 (英語) 共通 | | | | 詳細 |

STEPS in OSAKA問題を活用する

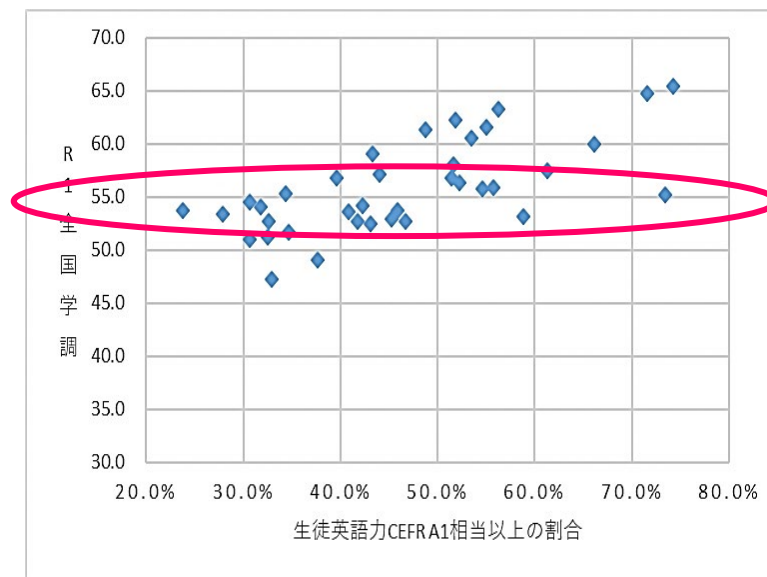
<MEXCBTテスト管理について>

- 「問題の種類から選ぶ」のタブを選択
- 問題の種類で「独自作成問題」
- タイトルに「大阪府」（またはSTEPSなど、タイトルに使われている単語）を入力
- 検索ボタンをクリック
※または、「教科から選ぶ」タブで
→教科を「英語」、校種を「共通」と入力しても検索できます。
- 使用する問題の左のチェックボックスをクリックして選択
- 「選択」のボタンをクリック
(10個ずつしか選択できません)

2. 令和4年度 の取組みの 成果と課題

大阪府における英語教育の課題

○中学校3年におけるCEFR A1相当以上の生徒についての見取りに市町村間で差があり、見取りの精度を高めることが課題だった



(中学校)英語教育実施状況調査及び
全国学力学習状況調査の相関関係
(ともに令和元年度)



◎ **児童生徒の学習到達度を客観的に見取る判断基準**を開発することが必要

◎ **児童生徒が指標を参考にしながら各自の学習到達度に応じて英語における5つの領域を学ぶことができるような、小中高で連続性のある個別最適な学びの実現に向けたシステム**を構築していく必要

Self Training for English Proficiency of Students in Osaka

STEPS in Osakaの開発
(新・大阪版CAN-DOリストをベースとした英語学習ソフト)

<目的> 児童生徒1人ひとりの学習到達度に応じ、1人1台端末を使用して個別最適な学びを実現するための学習ツールの作成

STEPS開発WG会議

新・大阪版CAN-DOリスト作成

STEPS in Osaka 問題作成

Webシステム上に
府作成の問題を搭載

聞く 読む 話す (やり取り) 話す (発表) 書く

4技能5領域
×
10段階
(CEFR-Jに準拠)

Advanced

英検 2～準1級
CEFR B1～B2相当

高校

Standard

英検 3～準2級
CEFR A1～A2相当

中学校

Basic

英検 5～準4級
CEFR-J・PreA1相当

小学校

【完成イメージ】

- 新・大阪版CAN-DOリストのうち、CEFR-JのPre A1からB2までの10段階で資質・能力ごとに問題を作成
- 個別に配備された1人1台端末上でインターネット接続して利用 (Webシステム)

【WG会議メンバー】

- ・小学校英語リーダー経験者
- ・中学校英語Co.
- ・高等学校教員
- ・市町村教委英語担当指導主事

- ・CAN-DOリスト作成
- ・各段階の問題作成
- ・所属校での実践 (授業改善・学習評価に活用)

【システム開発業者】

- ・CBT問題例の提示
- ・Webシステムへの搭載

【学識】 講義・指導助言

研究成果を
連絡会等
で発信

連絡会等での
意見・提案を
反映

【府教育庁】小中学校と高等学校間における英語の学びの共有・府域全体への取組みの普及

英語教育Webフォーラム
【小・高共催 (年2回)】

中学校英語Co.連絡会 【小中】

外国語担当指導主事連絡会
【小中】

大阪府教育課程協議会 【高】

小・中・高それぞれの研修の成果・教材・実践事例、授業公開等の情報を共有し発信する

連携・協力

大阪府中学校
英語教育研究会

令和4年度の問題作成の流れ

企画提案公募（プロポーザル方式）で募集

STEPS開発WG

システム開発業者

国事業再委託

大阪府

WG会議運営
(年4回)

4技能5領域×10段階の
大阪版CAN-DOリスト確認

提案

4技能5領域×10段階の
大阪版CAN-DOリスト（案）作成

フィードバック

業者から提供された
CBT問題例について
修正案などを討議

リストに応じた
CBT問題例（50問）を提供

情報提供

大阪版CAN-DOリスト確定

フィードバック

STEPSプロトタイプ版
(50問) MEXCBTへの搭載

STEPSプロトタイプ版
(50問) 修正案とりまとめ

STEPSプロトタイプ版をWG
メンバー在籍校で活用・検証

WGメンバー校への訪問
パフォーマンステストの実施状況等を把握
Webフォーラム等で周知

残りのSTEPS問題（200問）
の問題案を作成

情報提供

問題確認・修正作業（随時）

フィードバック

残りのSTEPS問題（200問）
修正案とりまとめ

情報伝達・共有の
流れに課題

STEPS問題（全250問）
MEXCBTへの搭載

問題最終確認（システム上で）

250問のSTEPS問題公開

リーフレット作成・配付

2.令和4年度の実践の成果と課題

STEPS in OSAKA の開発にあたっては、STEPS 開発 WG メンバーとして、府内の小・中・高等学校教員等 27 名と指導主事 2 名にご協力いただきました。先行して STEPS in OSAKA プロトタイプ版を WG メンバー所属校で活用しました。



▲授業で生徒がタブレットに向かって解答を吹き込んでいる様子

実際に活用してみた WGメンバーより

- ◎生徒が自分のペースで問題に取り組むことができていた。
- ◎それぞれの問題に目的や場面、状況が詳細に設定されていたため、子どもたちが楽しそうに取り組んでいた姿が印象的だった。
- ◎これまでの学習内容を統合的に復習するために、効果的に活用できるのではないかと感じた。
- ◎生徒にとって身近な教材になりそうだなと感じた。
- ◎授業の帯活動や、家庭学習でも予習や復習として取り組むことができそう。



コミュニケーションを行う目的や場面、状況など、児童生徒が具体的なイメージをもちながら英語を使おうとする動機付けができる

子どもたちの英語に対する学習意欲の向上に一定の効果がありそう →R5年度の研究へ

3. 令和5年度の 取組み状況 (実施方法の改善等)

令和5年度 大阪府英語教育推進事業

○令和4年度に開発した「STEPS in OSAKA」及び「大阪版CAN-DOリスト」を活用することにより、**英語力の見取りの質をさらに高めるとともに、個に応じた指導を充実させる**



- 「大阪版CAN-DOリスト」のディスクリプタと対応したタスクとして、他にも様々な目的や場面の設定により思考を働かせる問題が必要
- 「ふり返し」の記述が、教員が児童生徒を評価するための書きぶりになっていて、児童生徒が自分で学習を進める時に、より子ども自身で学びをふり返し、もっと学びたいと思えるような記載に変えていく必要
- 小学生が答えられる問題の数が少ない（令和4年度STEPS開発WGメンバーより）

「STEPS in OSAKA」をベースとした 効果的なICT活用促進をめざす

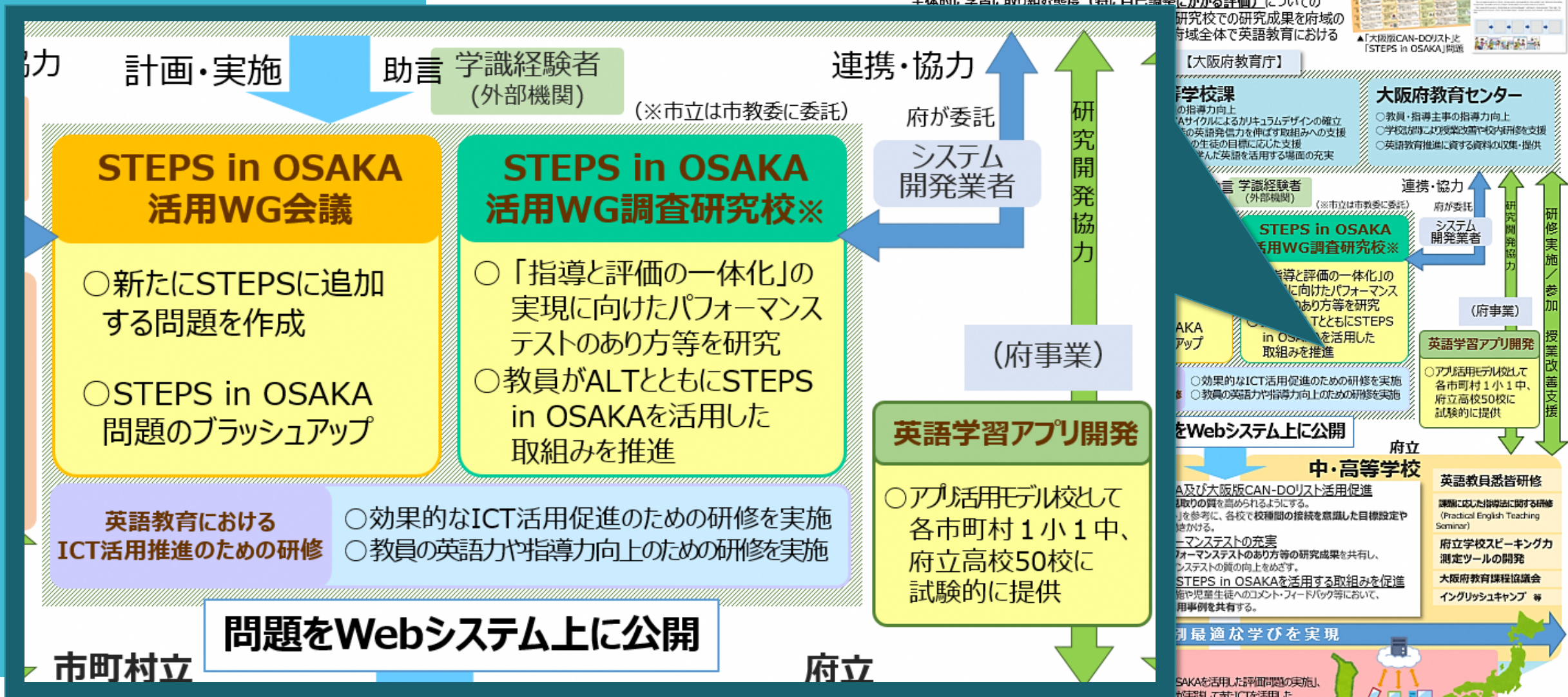
3. 令和5年度の取組み状況（実施方法の改善等）

【目標】大阪の子どもの英語学習の特質を踏まえた4技能5領域の資質・能力（聞く・読む・話す（やり取り）・話す（発表）・書く）を総合的に向上させる

※目標値 令和5年度英語教育実践力調査（基礎編）
 中学校：生徒英語力 50%（CEFR A1・英検3級程度以上）
 高等学校：生徒英語力 60%（CEFR A2・英検準2級程度以上）

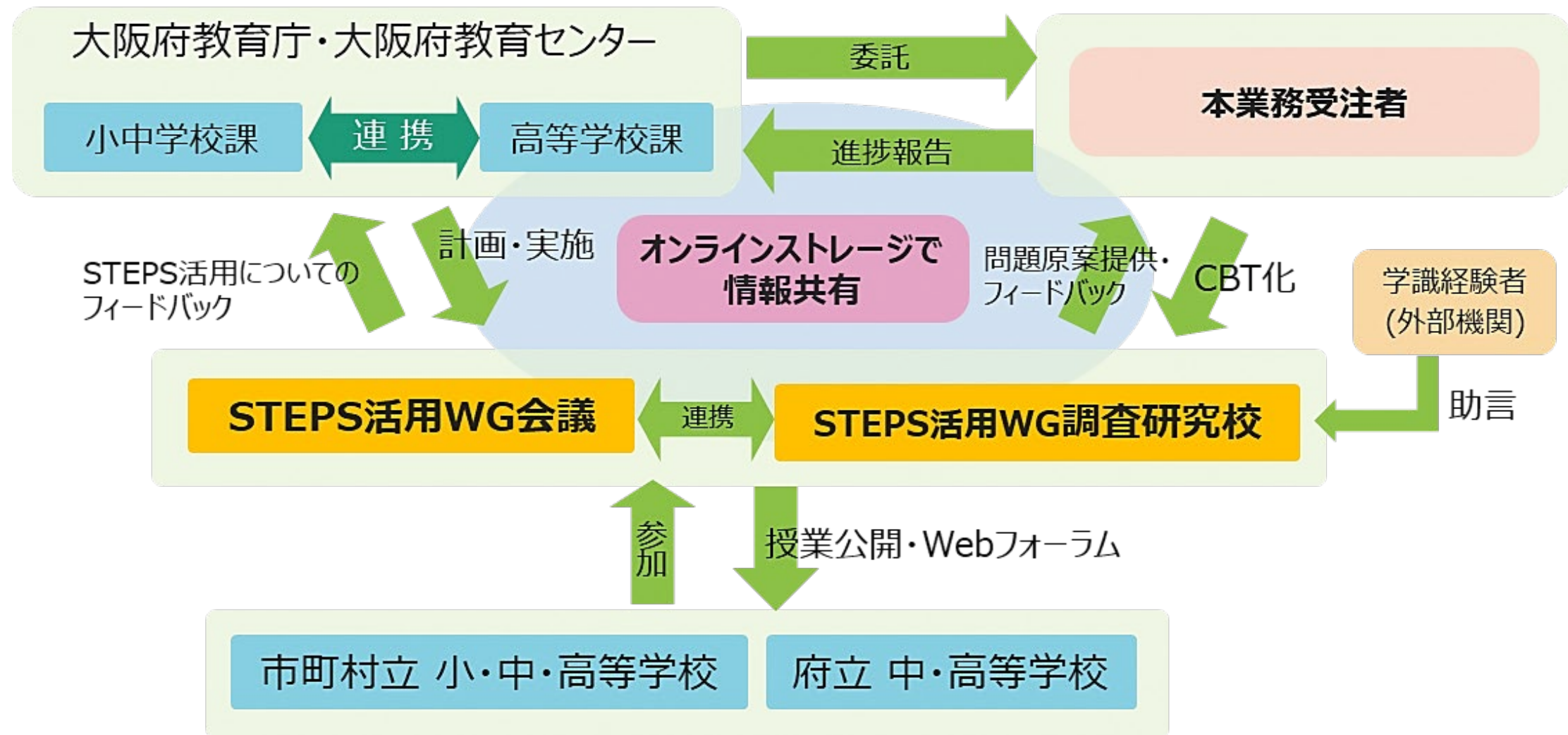
STEPS in OSAKAをベースとした効果的なICT活用促進

STEPS in OSAKA問題を活用したパフォーマンステストの効果的な実施や主体的に学習に取り組む態度（特に自己調整にかかる評価）についての研究校での研究成果を府域の府域全体で英語教育における



【期待される成果】府内小・中・高等学校における客観的な評価に基づいた「指導と評価の一体化」の実現

令和5年度の問題作成の流れ





令和5年度の問題作成の流れ



| グループ番号 | 段階 (STEP) | CEFR-Jレベル | 問題数 |
|--------|------------|-------------|---|
| A ① | STEP 1 | PreA1相当 | 5領域×大問を各10問×STEP1 計50問 |
| ② | STEP 2, 3 | A1.1~A1.2相当 | 5領域×大問を各6問×STEP2,3 計60問 |
| B ③ | STEP 4, 5 | A1.3~A2.1相当 | 5領域×大問を各6問×STEP4 30問 5領域×大問を各3問×STEP5 15問 計45問 |
| ④ | STEP 5, 6 | A2.1~A2.2相当 | 5領域×大問を各3問×STEP5 15問 5領域×大問を各6問×STEP6 30問 計45問 |
| C ⑤ | STEP 7, 8 | B1.1~B1.2相当 | 5領域×大問を各3問×2段階 計30問 |
| | STEP 9, 10 | B2.1~B2.2相当 | 5領域×大問を各2問×2段階 計20問 |

Googleドライブ上で
「問題作成用シート」を作成・更新
委託業者も閲覧可能にした

| 問題作成用シート | | | | | | | |
|-------------------------|--|---|------|----|--|-----|-------|
| 学校名 | 〇〇 | 立 | △△ | 学校 | | 作成者 | 〇〇〇〇〇 |
| STEPS in OSAKA 問題案 | | | | | | | |
| 領域 | 開くこと | | STEP | 5 | | | |
| ディスクリプタ | 空港でのアナウンスを聞いて、自分の乗る飛行機についての情報を聞きとる。 | | | | | | |
| タスク | ゆっくりはっきりと話されれば、駅や空港等の短いアナウンスについて必要な情報を聞き取ることができる。 | | | | | | |
| 目的・場面・状況 | 機内でのアナウンスで、自分にとって必要な情報を聞き取る。 | | | | | | |
| 問題 | <p>あなたは今、海外での語学研修を経て日本へ帰国するために飛行機に乗っています。機内アナウンスを聞き、次の質問の答えとして最も適切なものを、①~③の中から1つずつ選びなさい。</p> <p style="text-align: center;">1 ページ</p> | | | | | | |
| スクリプト (開くこと・話すことの問題の場合) | Ladies and gentlemen, we will be landing at Narita Airport in 15 minutes. Please make sure your seat belt is securely fastened. Also, please turn off all electronic devices and refrain from using the lavatories. The local time in Narita is 8:30 p.m. now. The weather is clear and the temperature is 20 degrees Centigrade. Thank you. | | | | | | |
| 解答 | ①At 8:45p.m. ②Fasten your seatbelt. | | | | | | |
| イラスト・図表などの指定 | 航空機内の様子の写真   | | | | | | |

R5 新規問題作成 フローチャート

WG

問題作成

(グループのGoogleドライブへ提出)

WGメンバーによるチェック

Googleドライブ 検討済みフォルダへ
(府へ提出)

WGメンバーによるチェック

MEXCBT上に公開

修正あり

修正なし 修正済

業者

問題のWordファイル (府へ提出)

問題をCBT化 (府へ提出)

修正なし 修正済

修正あり

3. 令和5年度の取組み状況 (実施方法の改善等)



STEPS in OSAKA

Self Training
for English Proficiency of Students



BASE in OSAKA

Be Able to Speak English



BASE in OSAKA

基礎練習として



STEPS in OSAKA

練習試合のような感じ



公式試合のような感じ



グローバル化した社会の中で「**生きた英語**」として使えるように

3. 令和5年度の取組み状況 (実施方法の改善等)



それぞれが
できること
／できないこと



BASE in OSAKA

<できる>

- ・話したことを
AIで自動採点する
- ・フリースピーチや
自由回答への対応

<できない>

- ・利用料が必要
- ・学習eポータルとの連動

STEPS in OSAKA

<できる>

- ・無償で利用できる
- ・学習eポータル上で
利用状況を確認
- ・大阪版CAN-DOリストの
タスクに基づいた問題

<できない>

- ・AIによる判定
- ・フリースピーチや自由回答へ
の対応

※今後、英語学習ツールやMEXCBT、学習eポータルの仕様変更により、
できないと示していることが、できるようになる可能性もあります。

3. 令和5年度の取組み状況 (実施方法の改善等)

今後の見通し

○STEPS in OSAKA問題を活用したパフォーマンステストの効果的な実施や主体的に学習に取り組む態度（特に自己調整にかかる評価）について研究を進める

○調査研究校での研究成果を府域だけでなく、全国の学校へ普及・発信したり、府内の学校を対象に研修を行うことにより、府域全体で英語教育における効果的なICTの活用を促進する



STEPS in OSAKA
Self Training
for English Proficiency of Students

小中高の連続性のある 個別最適な学びを実現



BASE in OSAKA
Be Able to Speak English